

高耐久型・薄層オーバーレイ・舗装全般

PPアスコン

- 強力な結合力・耐久力を生む高粘度アスファルトを使用しています。
- 排水性舗装の補修はもとより、初期のわだち掘れ、段差修正、表層剥離等の薄層オーバーレイ においてさえ、小型転圧機で入念に転圧すれば早期に強度を実現でき、長期間にわたり補修箇所を維持可能な特別な補修材料です。
- 高速道路で多数の使用実績をもちます。
- 揮発性有機溶剤を含まない無臭タイプの環境配慮型です。
- 開封後でも約2年の長期保存が可能です。



単粒型(5~2.5mm7号碎石相当)
袋詰25kg(ワンタッチ開封)

旧NETIS登録番号 KK-000019-VE

舗装わだち掘れのPPアスコンによる補修事例

①舗装わだち掘れ現況



④敷均し・バーナー加温



②清掃・マスキング・タックコート



⑤小型転圧機械による転圧



③PPアスコン投入・敷均し



⑥わだち掘れ補修完了(即時交通開放可能)



販売元

光工業株式会社

〒512-8415 京都市伏見区竹田中島町5
TEL (075) 641-5366 FAX (075) 645-3736

「PPアスコン」の特性

PPアスコンは高粘度アスファルトにより、骨材を特殊な方法でコーティングしています。そのままではバラバラの状態ですが、外部からの圧力が加わると、互いに結合して強固な舗装になります。通過交通量に比例して締め固まり、加熱合材並みの強度を実現します。

施行手順(薄層オーバーレイ)

1 補修箇所の水分・ほこり・小石・泥等は十分に除去してください。

2 水系で事前測定し、ガムテープ、アステープ等でマスキングして下さい。

3 タックコートはゴム入りタックコート(散布量0.4l/m²)、アスファルトスプレー(散布量2m²/本)等をご使用下さい。

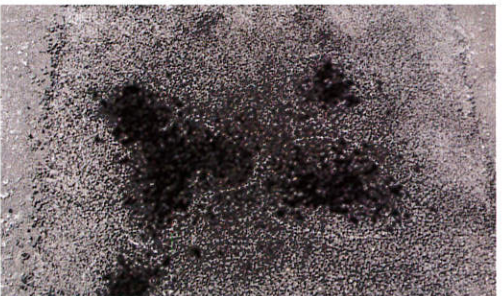
アスファルト乳剤は適度に乾燥させて下さい。乾燥が不十分であると、材料飛散の原因となります。

4 一層当たり厚さ2~3cmで平坦に敷きならし、端部は1cm程度として下さい。

気温が15度以下の場合はバーナーをご使用下さい。ほうきで掃くように軽く焙って下さい。(材料表面につやが出る程度。目安として70度C。白煙が多くでると過加熱状態です)

5 施工範囲外側(端部)から内側に向け材料全体が白くなるように丁寧に転圧して下さい。その後、端部はプレート前方を持ち上げ左右に振りながら擦り付けるように転圧します。全体を縦方向・横方向にまんべんなく転圧し、へこみのある黒い部分は材料を補充し更に転圧して白くなれば完了です。端部は5mm以下にて仕上げして下さい。

6 施工後すぐに交通開放して下さい。



保管・使用上のお願い

- ・アスファルトの性質上、積み重ねによる自重や気温の低下とともに製品が硬くなります。寒期には保温カバー等を被せて保温保管するか、事前に使用予定数量を暖房のきいた室内での保管をお勧めします。また、材料が硬い場合は袋ごと持ち上げて上下左右の側面を下にして落下させ、その後、側面を立て膝や足の裏で体重をかけながらほぐして下さい。
- ・寒期の施工では、路面や材料を施工前にバーナーで暖めて下さい。材料表面のアスファルトが軟化し付着しやすくなります。
- ・雨天及び気温0度以下の場合には施工は見合わせて下さい。